

地域貢献への取り組み

社会貢献活動

琉球銀行は、社会貢献活動を地域金融機関にとって重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域福祉への支援活動

平成17年11月にりゅうぎんユイマール助成会*の小規模作業所への支援事業として「りゅうぎんプレゼンツ 第21回ナイスハートバザール」を開催しました。平成18年3月には、これまでの12年間の助成金の総額が1億円を超えました。さらに、公益信託契約代理店として、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻(うるま)福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営にたずさわっています。

CSR(企業の社会的責任)活動

平成18年1月に、懸賞金額の一部をエコ支援金としてボランティア団体の活動支援に充てる「りゅうぎんエコ定期キャンペーン」の助成先として、ヤンバルクイナの保護・飼育研究活動をしている「NPO法人どうぶつたちの病院」、環境学習を実施している「グループエコライフ」へ支援金を贈呈しました。

芸術文化支援活動

平成10年より、地域への社会貢献と県内の若手芸術家育成を目的に、「りゅうぎんふれあいコンサート」を開催しています。平成18年3月には、第7回のコンサートとして「コミュニケーションアート『key』」を沖縄コンベンションセンター劇場棟で開催し、1,500枚の招待券を県内の小規模作業所や福祉作業所へ贈呈しました。

芸術・文化活動の支援としては、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、りゅうぎん紅型デザイン公募展を毎年開催しており、今年も15回目の募集を開始しました。応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品は琉球銀行のカレンダーの絵柄として採用されるほか、ティッシュやメモ帳など頒布品の絵柄にも採用されています。

*りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役員員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役員員から1,000万円の募金が集まった場合、銀行も1,000万円を拠出し、合計2,000万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、239件、1億154万円となっています。(平成18年5月31日現在)



第11回宇流麻福祉基金の助成団体の皆様と大城頭取(2列目左)



「おきなわ工房」「なは倶楽部」の皆様と大城頭取(中央)ユイマール助成金が1億円を超える



幻想的なステージ
コミュニケーションアート「key」